

まちづくりや暮らしに関する制度など、市のあらゆる事業、方針について議員が質問する中で、主張・提言・指摘します。

市の重要な施策の決定を、この本会議で行っています。

6月定例会は個人質問のみです。質問時間は答弁とあわせて40分です。

三田市議会会議録

三田市議会インターネット中継

検索

日本共産党三田市議団

國永 紀子 議員



国保 国保税県単位化にむけて諸課題の解決を

議員 平成30年から、国保が県と市の共同運営になる。県が示す納付金が高額になる場合、加入者の負担増とならないよう対策をとることと併せ、県との協議の場で加入者の実情など意見を反映すべきだが、市の見解を問う。

市 納付金については、国保連絡協議会で意見を述べる

県と市町で構成する国保連絡協議会で国保運営方針や納付金の算定方法などを協議しており、その中で必要に応じて意見を述べたい。子育て世帯への負担軽減については、国において引き続き議論をすることになっており、その動向を注視していきたい。(高見健康福祉部長)

他の質問 ●介護保険総合事業について ●法人監査部門を設置することについて

盟政会

福田 秀章 議員



道路 自転車の安全対策を問う

議員 昨年度から自転車レーンの整備を進められているが、今後の整備スケジュール及び三田幹線の整備方法は。また、利用ルールを周知するための啓発はどう考えているのか。

市 安全な利用を呼び掛けていく

三田市自転車ネットワークに基づき、市街地エリアから順次整備を進めていく。今年度は市道三輪石名線等を予定。三田幹線は本線ではなく側道で整備を行う。今後も広報紙の掲載や学校その他関係機関と連携を図り安全な利用を呼び掛けていく。(龍見地域振興部長)

他の質問 ●ため池の適正な管理について ●地域おこし協力隊について

新政みらい

厚地 弘行 議員



教育 卒業式で「仰げば尊し」の復活を

議員 小中学校の卒業式で「仰げば尊し」が聴かれなくなったが、卒業にふさわしい曲だと思う。卒業式で歌って欲しいと地域の人からの要望もあるため、小中学校28校で100曲歌われている中で1曲くらいは歌う事を検討してはどうか。

市 学校長の責任のもとで決定する

「仰げば尊し」は格調高い曲だと考えているが、卒業式は教育課程の一環であり、学校長の責任のもとで計画実施される。選曲は実態に応じて児童生徒・教師が十分に話し合い、学校長が決めている。(鹿嶽教育長)

他の質問 ●三田市第3次定員適正化計画について ●ふるさと納税の今後のやり方について ●土砂災害警戒区域の小学校への対応について

新政みらい

中田 哲 議員



シティセールス 積極的なシティセールスを

議員 三田の特性を活かした取り組み『ビールブランド創造』、『三田×サンタプロジェクト』についての課題は。また、SNS等の情報発信に加えテレビ等のメディアも使ったシティセールスについての市の考えは。

市 より広く効果的な情報発信に努める

三田ビール検定、三田×サンタプロジェクトについては、テレビやラジオに取り上げられ大きな反響を呼ぶことができた。引き続き、行事の定着を図り、様々な媒体の特性を踏まえながらシティセールスを展開する。(森市長)

他の質問 ●地籍調査事業による測量成果の活かし方について ●認知症の早期発見、初期対応、市民理解向上についての取り組みについて

盟政会

白井 和弥 議員



防災 山田ダムの治水利用について

議員 山田ダム下流域は度々洪水が起こっているが、水源としての依存度が下がった山田ダムを既存のゲートを操作することにより水位を下げ洪水調節容量を作ることによって治水ダムとして運用できないか。既存設備の運用で大きな効果を望めると思うが。

市 洪水対策にダムを活用するべく兵庫県と調整を行う

ダムの水位を下げるには、ゲート(水抜孔)の動作確認と、堆積した土砂が流れ出す可能性など課題はあるが、洪水対策にダムを活用するべく砂防ダム及び河川管理者の兵庫県と調整を行なっていきたい。(椋田技監)

他の質問 ●若者が活躍できる場所づくりについて ●三田青磁のシティセールスへの活用について

日本維新の会三田市議会議員団

小山 裕久 議員



教育 信頼される学校づくりについて

議員 事務処理や調査報告書の作成等により教職員が子ども一人一人に向き合う時間が不十分になっている面がある。教職員の負担軽減と職場環境の整備についてどう取り組むのか。

市 誇りとやりがいをもてる環境を確保する

教職員の意識改革、ノー残業デー、ノー会議デー、ノー部活デーや、会議資料の電子化などの取組のほか、校務支援システムを導入し、事務の負担軽減に努め、心身ともに健康を維持できる職場づくりを進めている。

今後も現場の教職員が元気に子どもたち一人一人と向き合えるよう取り組んでいく。(岡崎学校教育部長)

他の質問 ●カルチャータウン地区の整備について ●身寄りのない方が亡くなったときの市の対応について

日本共産党三田市議団

長尾 明憲 議員



子育て 多子世帯軽減年齢制限の撤廃を

議員 多子世帯保育料軽減には上の子どもの年齢制限がかけられているため、保育認定の状況、年齢差によって軽減措置が受けられない場合もある。だが兄弟の年齢差に関わらず、どの世帯も多子世帯に変わりはない。年齢制限を撤廃するべきでは。

市 国による財源確保のもと幼児教育無償化を求める

多子世帯保育料軽減の年齢制限撤廃について、市単独で導入することは財政負担が大きく困難である。国による財源確保のもと、幼児教育無償化の早期実現を求めていく。(高見健康福祉部長)

他の質問 ●防犯カメラの設置及び運用に関する条例の制定について ●個人では処分にごみの受け入れについて ●市民病院の今後と議論の進め方について

市民の会

佐々木 智文 議員



人権 部落差別解消推進法を受けての今後の成果と課題

議員 部落差別解消推進法を受け、人権教育・政策を進めるうえで、これまでの三田市行政の取り組みを検証し、成果と課題を明らかにすることが重要であると考えているが、市長としての考えを伺う。

市 差別の実態と本質を理解し対応していくことが必要

差別を解消するにはまだまだ教育や啓発は不十分であり、また人権に関する相談体制の充実も今後の検討課題である。市役所職員や教職員が、部落差別の存在とその実態をしっかりと受け止めるとともに、差別の本質を十分理解し、対応していくことが必要だと考えている。(森市長)

他の質問 ●三田市シルバー人材センターへの支援及び道路パトロールの充実について